

平成 30 年度

公益財団法人駒ヶ根市文化財団

事業計画及び予算書 ~~(案)~~

(公財) 駒ヶ根市文化財団

公益財団法人 駒ヶ根市文化財団

平成30年度 事業計画概要 (案)

公益財団法人駒ヶ根市文化財団は、駒ヶ根市との指定管理に関する協定に基づき、生涯学習・文化芸術の拠点施設である駒ヶ根総合文化センター及び天竜かっぱ広場の管理運営にあたります。

これまでに当財団が培った地域社会及び関係団体との信頼関係、更には専門的な知識や技術の集積と経験を活かし、関連施設全体のより一層の効率的・有機的な運営に努め、市民サービスの向上を図るとともに、更なる教育環境の充実と文化芸術の振興が図られるよう努めてまいります。

また、当財団は、公益財団法人への移行を自己変革の良い機会と捉え、法人運営の在り方や事業内容の見直しを進めておりますが、今後も、自己改革の手を緩めることなく、皆様の期待に応えられるよう、なお一層の資質向上を図ってまいりますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお、本年度は、市指定管理者として再指定され3年目となりますが、駒ヶ根総合文化センター及び天竜かっぱ広場ともに指定期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間であります。

運営方針(サービスに関する基本的な考え方)

1 生涯学習・文化芸術の拠点施設としての総合文化センター

図書館、博物館、文化会館、勤労青少年ホーム及び女性ふれあい館から成る総合文化センター全施設の融合を図るとともに、市内の社会教育機関等との連携を図りながら、利用者の声を大切に、真の市民の生涯学習・文化芸術の拠点となるよう、指定管理者として効果的・効率的な運営に努めてまいります。

平成30年度も引き続き、当財団の強みの一つである複合施設のメリットを活かしながら、各館連携のもと、多様な学習機会を提供できるよう、各種事業に取り組んでまいります。

なお、経年による施設・設備の老朽化が進んでいるため、業務に支障の生じないよう計画的に改修等を実施するとともに、長期改修(リニューアル)計画の見直しを図ってまいります。

2 文化会館

- * 年度協定で定められた予算の範囲内で自主事業を計画し、市民に優れた芸術鑑賞の機会を提供します。年間20本程の事業を実施し12千人の観客動員を目指します。
- * これまでの演目見直しの努力を継続し、有識者からの意見聴取及び利用者アンケートなどにより市民要望を的確に把握しながら、安価で質の高い芸術性豊かな公演等を提供します。
- * 地元出身者による公演や市民参加型事業に力を入れるとともに、特定分野に偏ることなく、子どもからお年寄りまでの幅広い年代層に足を運んでいただけるよう取り組みます。

- * 次世代の育成に目を向け、ジュニア市民(子ども達)が参加できる事業の充実を図ります。
- * 施設の貸付にあたっては、公益性の高い市民的行事等は優先的に受け付け、市の減免基準に基づき利用料を減免しながら、市民の利用しやすい環境づくりに努め、施設の稼働率を高めます。自主事業を含めた年間の利用者目標を 65 千人とします。

3 図書館

- * 一般図書と専門図書の均衡ある収集に努め、図書資料の充実を図りながら、あらゆる利用者の学習ニーズに対応します。蔵書目標は 189.5 千冊、年間貸出は 212 千冊を目標とします。
- * 業務に精通した有資格職員の配置を進め、レファレンスサービスの充実、図書館ネットワークの効果的な活用によりサービスの質を深めます。
- * 平成29年度末に策定した第3次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画を推進します。
- * 地域資料、貴重資料のデータベース化を図り、公開することにより、利用者のニーズに合った情報サービスを目指します。
- * 学校図書館と公共図書館で連携してアクティブ・ラーニングに対応できるように「図書館を使った調べる学習コンクール」を推進します。
- * 長野県図書館大会を駒ヶ根市にて実施し、県内の公共図書館の司書・職員が集うなかで、駒ヶ根市立図書館の良さや課題を共に学びます。

4 博物館

- * 収蔵する約 127 千点の民俗・考古・歴史・自然資料の適正保存に努めるとともに、その有効活用を検討し、公開展示、教育普及事業を実施します。また、資料収集を継続的に実施し、貴重な資料が廃棄・処分されてしまわないように啓蒙活動も実施していく。
- * 複合施設の利点を活かしつつ、関係機関や市民研究団体等と連携し、講座や展示の充実を図り市民に郷土研究、学習の場を提供します。また、これらの活動を通じ、郷土の文化財や自然に対する理解、保存の意識の高揚に努めます。
- * 市内芸術家で構成される「駒展実行員会」と連絡・協調を高め、「駒展」をより充実させていく。また、同時開催の「ジュニア駒展」を充実させていくために、市内小中学校との連携をより深め、児童・生徒の芸術活動の推進を図ります。
- * 展示室及び展示ロビーを市民の発表の場として活用し、文化芸術の発信基地としての事業の充実を努めます。
- * 市内文化財(人文系・自然系全般)の調査研究活動をより充実させ、平成28年度に一新した専門研究員の活動を充実させるとともに、博物館活動の情報発信の手段としての博物館報を充実させる。

5 勤労青少年ホーム・女性ふれあい館

- * 勤労青少年及び女性の就業支援(スキルアップ)、生活支援(家庭生活の充実)のため、利用者のニーズの把握に努めながら、趣味、教養、技能、健康づくりなどの講座を開設します。年間 30 講座、受講者数(定員)350 名を目標とします。講座開設にあたっては、商工会議所等の関係機関との連携を図ります。

- * 勤労青少年及び女性の自主的な学習活動を支援するため、サークル(クラブ)を育成し、活動の場を提供し、必要に応じて助言指導します。登録団体数は40団体、登録者数は400名を目標とします。
その際、サークルが独自の活動のみで終わってしまうことのないよう、自主運営の「利用者の会」を組織して、世代を超えた利用者相互の交流を促し、更には社会貢献活動にも取り組めるよう配慮します。
- * 貸館利用を含めた年間利用者数の目標を30千人とします。

6 天竜かっぱ広場

- * 「かっぱ」に関連した作品や資料を収集し、その収蔵資料を活かした親しみやすい展示を企画するとともに、他の教育機関や産業・観光施設などと連携しながら利用の促進を図ります。
年間有料入館者の目標を2,000人とします。
- * 市民が郷土の文化や自然への理解を深め、家族のきずなを強め、地域コミュニティの充実を図れるよう、ふれあい講座、ミニほっと講座を積極的に開催します。ふれあい講座の企画を充実して、郷土の文化・歴史・自然を楽しく学んでいただく事を目指します。
各講座とも参加者の要望に応じながら、ふれあい講座は年10回程度、ミニほっと講座は年5回程度の開催を目標とします。
- * 地域住民組織や観光協会と連携しながら、竜東の玄関口にある立地の良さを活かして、地域行事、体験交流型イベント及び観光案内に協力・参画し、地域振興に貢献できるよう取り組みます。

7 財団奨励賞

- * 平成15年度より、文化振興事業積立資産(旧財団基金)の運用益を基とする「財団奨励賞」の事業を実施しています。今年度も、駒ヶ根市における文化芸術の振興と文化的環境の充実を図るため、文化芸術に貢献し、実績のある個人・団体を顕彰します。
また、青少年の文化芸術振興を図るため「ジュニア駒展」について、駒展実行委員会と共に、継続実施してまいります。

8 その他

- * 市民の憩いの場であるすずらん公園「平和の森」は、噴水施設が設置された事をふまえながら公園全体の景観整備を図ります。
- * 施設、設備の適切な管理・保全に努めます。

平成30年度 駒ヶ根市文化会館自主事業計画及び収支算込(案)
文化会館事業費

公演日	演目	文化会館事業費			文化会館事業収益				委託料	合計	
		出飲料・負担・補助金	諸経費	広告宣伝費	合計	入場料金/席種	入場者	チケット収入			その他収入
市民参加型	第31回郷土芸能まつり	負 200,000	0	0	200,000	自由	800	0	0	200,000	200,000
参加型	第59回 駒ヶ根市民音楽祭	負 200,000	0	0	200,000	自由	800	0	0	200,000	200,000
教育/育成型	A-Stock Theater Komagane事業 むつのを ジュニア和楽器講座	補 500,000	0	0	500,000	自由	1,000	0	0	500,000	500,000
育成型	アンサンブル信州in富田鑑賞教室	0	0	0	0	鑑賞	700	0	0	0	0
育成型	駒ヶ根高原音楽祭マスタークラスコンサート	0	0	0	0	自由	500	0	0	0	0
育成型	劇団四季『心の劇場』	0	170,000	0	170,000	鑑賞	600	0	0	170,000	170,000
育成型	信毎駒ヶ根文化講演会	負 500,000	50,000	50,000	600,000	自由	900	0	0	600,000	600,000
育成型	優秀映画鑑賞事業	0	50,000	100,000	150,000	自由	50	25,000	0	125,000	150,000
育成型	伊南子ども劇場共催事業『魂のゴスペル&HAPPYサウンド』	負 250,000	0	0	250,000	自由	650	0	0	250,000	250,000
鑑賞型	駒ヶ根音楽文化協会共催事業	負 250,000	0	0	250,000		0	0	0	250,000	250,000
鑑賞型	友の会事業(観劇ツアー他)	0	800,000	0	800,000		0	0	700,000	100,000	800,000
鑑賞型	演歌 市川由紀乃コンサート	負 1,300,000	380,000	300,000	1,950,000	指定	750	375,000	20,000	1,555,000	1,950,000
鑑賞型	アンサンブル信州in富田 第16回定期演奏会	0	0	0	0	一般 高校生	600 100	0	0	0	0
鑑賞型	オフィス・マユ、駒ヶ根音楽文化協会共催事業『ハレエ』	負 250,000	0	0	250,000	自由	800	0	0	250,000	250,000
鑑賞型	演劇 二兎社公演『ザ・空 Ver2』	出 4,500,000	500,000	400,000	5,400,000	指定	600	2,100,000	100,000	3,200,000	5,400,000
鑑賞型	駒ヶ根高原音楽祭 第5回オーブニングガラコンサート	負 500,000	0	0	500,000	指定	300	0	0	500,000	500,000
鑑賞型	劇団四季ミュージカル『ソング&ダンス』	出 5,750,000	1,350,000	50,000	7,150,000	S A B	450 300 60	3,825,000 1,950,000 380,000	10,000	1,085,000	7,150,000
鑑賞型	和楽器のオーケストラ むつのを	出 1,200,000	50,000	200,000	1,450,000	一般 学生	250 50	500,000 25,000	0	925,000	1,450,000
鑑賞型	駒ヶ根落語会	出 2,160,000	10,000	350,000	2,520,000	S A B	400 150 50	1,600,000 450,000 100,000	60,000	310,000	2,520,000
鑑賞型	J-POPコンサート	出 6,000,000	500,000	400,000	6,900,000	指定	900	4,500,000	200,000	2,200,000	6,900,000
共通経費・その他収入		出 19,610,000	0	0	680,000				0	680,000	680,000
合計		負 3,450,000	4,460,000	1,850,000	29,870,000		11,975	15,780,000	1,090,000	13,000,000	29,870,000
補計		補 500,000									
計		23,560,000									

平成30年度事業の特色

- 1.地元出身者の出演(佐野成宏氏出演のコンサート・駒ヶ根落語会での春風亭愛橋さんの出演)
- 2.市民参加型事業の充実(郷土芸能まつり・市民音楽祭・ジュニア和楽器隊)並びに市民企画公募型事業の継続支援
- 3.幅広い年代層への会館利用の促進(若者向け、高齢者向けコンサート)
- 4.幅広い文化の公演(アンサンブル信州・むつのを・ミュージカル・演劇)
- 5.地元鑑賞団体との共催事業(伊南子ども劇場・駒ヶ根音楽文化協会)
- 6.会員向け観劇バスツアーの企画

「駒ヶ根市図書館サービスの基本計画」に基づき、図書館サービスの向上を図る

◎重点項目

1 資料の収集と提供

- ◎郷土資料や行政資料の積極的な収集と整理及び、当市の重点政策をふまえた関連資料の収集・提供・開示
- ◎加島文庫 (中沢区 故「加島祥造」氏寄贈) の継続整備・登録作業 (複数年度に亘る整備計画)
- ◎資料の順次データベース (DB) 化を行い、将来への適性保存を図る

導入済：信濃毎日新聞、国立国会図書館デジタルコレクション、法規法令 (第一法規)

導入検討：農山漁村文化協会の農業支援、朝日新聞、中日新聞 ⇒ 新聞紙資料の保管庫満杯

併せて、同様に満杯状態の「閉架書庫」と「きらら内保管室」の資料整理・選別を行いながら、貴重資料の点検や修繕を実施

2 新たな中期目標「第三次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画 (H30～34年度の5ヶ年計画)」の実施

- ◎全館で取り組む「アクティブラーニング」支援のための「調べる学習コンクール」を継続実施
- ◎「家族読書の日 (毎月第3水曜日/ノブイデー)」を関係諸機関と連携して更に普及させ、主に家庭での読書習慣の定着と読書環境の促進を図る
- ・6ヶ月児「ブックスタート ～はじめての本～」事業、2歳3ヶ月児「セカンドブック」事業 (いずれも子育て支援事業/読み聞かせ実演・絵本プレゼント)、小学校新入生「サードブック」事業 (読書支援/学校司書・司書教諭と連携、おすすめブックリストの配布等)
- ・「よみーくちゃん巡回」事業
(全ての幼保園、子育て支援C、まあるくなあれ、レディースクリニックあそびのもり、赤穂公民館親子学級への絵本巡回)
- ・乳幼児から小学生を対象とした「おはなし会」の開催の他、子供向け各事業 (紙芝居会、お楽しみ会、クリスマス会等) の実施
- ・地域への出前事業「お出かけ図書館」による館外活動の実施
(幼保園、子育て団体、子ども交流センター、公民館分館、地域自治組合、こころの医療センター等へ)
- ・「どこでもブックセルフ (市内施設へ図書コーナー設置)」の充実
(設置済み/アルパ、予定/ふれあいセンター・中アロープウェイ乗り場、こころの医療センターなど)

3 利用者サービスを充実させ、地域から信頼される生涯学習の拠点施設を目指す

- ◎レファレンス (調べ事・相談依頼) に応えられる資料の購入・整備・提供と職員の資質向上
資質向上 ⇒ 県図書館協会等が開催する研修会へ、学校司書を含め積極的な参加及び市内司書会の充実
- ◎読み聞かせボランティア研修会、駒リプ生き生き講座、四季のおはなし会 (一般成人対象) 等を開催し、資料提供分野以外で地域へ貢献できる事業や講座の開催
- ◎読書通帳機や書籍除菌機等の「利用者の利便性と快適性を図る機器」の導入検討
- ・「コーナー展示」時事話題や社会の重要出来事を、タイムリーに特集展示 (一般・児童ごとに毎月入替え)
- ・情報コーナー (公開 PC 3台)、AV コーナー (視聴デッキ5台)、学習室の提供と、情報劣化機器の入替え
- ・広報紙、ホームページをはじめとする情報発信媒体の充実と広報宣伝活動の工夫
- ・年齢やテーマに応じた資料の分かりやすい配架 (目的資料の探しやすさ) と総合的に館を利用しやすい工夫

4 関係機関との連携・協力

- ◎公共図書館 (3館) と全ての学校図書館 (7校) が同組織の職員であり、システムも共有化している利点を活かし、人的にも資料的にも2の「子ども読書活動」の一層の推進に全館を挙げて取り組む
- ◎県図書館大会 (11月) の開催館として、県協会事務局と協力し、大会を成功させる
- ◎上伊那協会9館を中心とした地域の公共図書館間における、情報共有や連携を密とした横の繋がりの強化
- ・県内公共図書館を主とした相互貸借制度 (自館にない書籍の貸借) の活用

5 市民が快適に訪れ、過ごすことのできる図書館

- ◎開館30数年を経た老朽設備の順次更新を行い、利用者が過ごしやすく、利用者に優しい環境の整備
- ◎同様の年数を経た中沢分館・東伊那分館の館内設備の順次更新と、資料の見直し・充実を図り、竜東地域住民の利用拡大・促進に努める

6 目標値

蔵書数 (登録資料+竹村文庫の教科書資料+未登録図書)

	26年度	27年度	28年度	29年度 (予想)	30年度 (目標)
蔵書冊数	185,598	186,847	186,003	189,000	189,500
貸出冊数	202,010	220,724	210,678	211,500	212,000

7 その他

- ・「市雑誌スポンサー制度」を活用しての雑誌資料の増加と充実 (1期3年、今期/2期目 H29～31年度) **5**

平成30年度博物館事業計画

駒ヶ根市立博物館

郷土の歴史や文化・自然などの資料の収集・整理に努めるとともに、文化・芸術活動の発表の場としての展示室・展示ロビーの効果的な活用の検討と運営を実施。

各公民館・市内小中学校・高等学校への博物館資料の提供と専門研究員による学習講座の開催及び資料提供(情報発信)、展示室のより効果的な活用による教育普及を図る。

これらの活動を通じ、郷土の文化財や自然に対する理解や保存・保全の意識の醸成に努めるとともに、博物館収蔵品の管理と保存、さらに公開するなどの活用の充実を図る。

付属館である郷土館・民俗資料館さらにはあゆみ館の展示物及び利活用を社会教育課とも検討しながら資料館としての役割を再度検討していく。

1 展示事業

従来通りの博物館企画による展示と一般市民(団体・個人)の共催事業として実施する展示を行っていく。

・博物館主催による企画展の実施

ア 第17回「駒展」・第3回「ジュニア駒展」 同時開催

イ 博物館企画展(特別展)

ウ 博物館専門研究員の調査・研究成果の展示

エ 館収蔵品の公開と情報発信のための企画展の開催

(自然関連展示「昆虫展」等・民俗資料・考古資料・芸術資料)

オ 市内出身の通学者が多数通学する高等学校の文化部・芸術部へ呼びかけ、「卒業記念展」「文化芸術展」等の誘致を検討する。

・博物館共催事業

・市内及び近隣市町村で活躍する文化・芸術団体及び個人の活動発表の場の提供

2 教育普及活動

・「古文書初心者講座」・「郷土を知る会」を継続実施する。

・博物館専門研究員による各種団体の研修への講師の派遣や文化財見学などへの資料提供や案内の充実を図る。

・資料の貸し出し、展示物の解説・案内などを通じ、学校教育と積極的に関わり、郷土への興味や愛着を図る。

3 資料収集及び整理

・寄贈資料の充実を図るとともに、赤穂公民館改築に伴い、収蔵資料の保管場所の確保・活用方法の検討を年間を通じて検討していく。

・博物館報の発行により、年度ごとの博物館資料収集状況、専門研究員の調査研究実績を発表していく。

・収蔵図書資料や古文書類の活用のための整理作業の継続実施。

・「駒ヶ根市民俗資料館」の展示物の整理と充実を図っていく。

4 市文化財関係事業への助言並びに協力

・周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の事前確認(社会教育課との連携)

・希少動植物保護条例に基づく調査、助言等の実施。

・名勝光前寺庭園整備計画に基づく事業に伴う調査や現地見学会への協力。

・駒ヶ根市指定文化財に関わる調査への協力。(文化財審議会への協力)

◎働く青少年及び働く女性に対して、日々の余暇を利用し、憩いやスポーツ・レクリエーション・文化教養等、余暇活動の場を積極的に提供し、身近で使いやすい施設を目指すとともに、社会人・職業人としての役割を積極的に果たすための、知識や能力を体得する場としての機能を持つことをねらいとする。

ホームの理念 『学びー憩いー集いー社会参加』

1 主催講座の開催

- ・勤労青少年・勤労女性の福祉向上に役立つ支援を行う。(相談・子育て支援等)
- ・職能取得、一般教養、趣味、健康、スポーツ等の内容で、ニーズをさぐりながら講座を開設する。また、昨年度も好評だった「パソコン講座」や再就職、起業を支援する講座について、継続開講できる様に検討する。
- ・前期・後期・単発のおよそ30講座を実施する。特に若いお母さんたちに好評な「ヨガ」、「リトミック」、「ピラティス」などの講座は前期・後期で開催し、多くの市民に受講していただく機会を設ける。

2 サークル(クラブ)の育成

- ・38サークル(クラブ)の利用室の調整等、明るく・楽しく・元気良く、活動しやすい場(会場)の提供、サークル内で起きた問題等の相談、また最近ではサークルメンバーの高齢化が目立つので、活動を継続出来る様に助言や協力を行う。
- ・一年間の学習の成果として、勤労青少年ホーム・女性ふれあい館合同での発表の機会(文化センターホーム祭)を設ける。
- ・主催講座からサークル(クラブ)へ移行できる様、助言、フォローを行う。

3 利用者の会支援

- ・会員数 約380名
役員及びサークル代表者を中心として世代を超えた相互の交流を深め、全会員が協力し合って、元気で主体的に運営できるよう支援する。

○事業内容

- ・全館清掃(6月実施)
- ・文化センターホーム祭(11月)
- ・活動記録「なかま」の編集発行(3月)
- ・女性ふれあい館の視察研修、利用者相互の親睦事業の実施
- ・勤労青少年ホームの視察研修、利用者相互の親睦事業の実施
- ・その他、サークル交流会(随時)等の実施

平成30年度 おもしろかっぱ館 事業計画(案)

活動の概要

- ・「かっぱ」の関連作品や資料を収集し、その収蔵資料を生かした親しみやすい展示を実施するとともに、他の教育機関や観光産業施設などと連携しながら利用の促進を図ります。
- ・市民が郷土の文化や自然への理解を深められるよう、ふれあい講座・ミニほっと講座を積極的に開催します。
- ・教育施設の枠にとどまらず、竜東地域の窓口としての立地を生かした地域振興に貢献できるよう取り組みます。

平成30年度目標として

- ①年間有料入館者目標2,000人
- ②「ふれあい講座」の実施
- ③「ミニほっと講座」の実施
- ④プチ観光案内所として特に竜東地区の観光案内に努める

主な事業計画

1. 展示

(1) 特別展「長野県にゆかりのある作家展」(4月1日～平成31年3月31日)

(2) その他

- ①天竜かっぱ祭り応募ポスター展示 ②その他

2. 講座

(1) ふれあい講座予定(10講座開催をめざす)

日	曜日	講座内容	対象	講師
5月19日	(土)	春の星座観察会	親子・友達・個人	日岐敏明
6月16日	(土)	「身近な薬草」(草・樹木・果実)	地域の関心ある方	未定
7月28日	(土)	少子高齢化と相続・成人後見など	地域の関心ある方	未定
8月4日	(土)	昆虫採集と標本の作り方	親子・友達・個人	田中邦治
9月8日	(土)	夏の星座観察会「火星を見よう」	親子・友達・個人	日岐敏明
10月20日?	(土)	かっぱ館の周囲は城(跡)だらけ	歴史好きの方	倉田文和
11月24日	(土)	「伊那谷に天狗現れ、まかり通る!」	歴史好きの方	福澤文雄
12月15日	(土)	地域の昔話(民話)について	親子・友達・個人	図書館
1月26日	(土)	ドライフラワーアレンジに挑戦	親子・友達・個人	久保田ちず子
2月16日	(土)	中村家と井上井月	歴史好きの方	下島大輔

(2) ミニほっと講座

- ・かっぱ館を一人でも多くの皆様に知っていただき、地域の皆さんの交流の場として活用を図る為、簡単な手芸、絵画等の講座を行う

3. 運営委員会の開催と視察研修旅行の実施(2年に1回実施) 委員会5/8(火) 予定

- ・視察研修旅行日帰り(案) ①鎌倉 荻柄天神を中心に、②諏訪 守矢資料館を中心に

4. 地域社会との連携

- (1) 第30回天竜かっぱ祭りの開催に貢献する。 平成30年8月25日(土) 予定
- (2) ホテルとアヤマの里づくりの会による「ホテルの里」づくりをすすめる。
- (3) ふれ愛なかっぱ市の開催に貢献する。年2回 (29年度 7/22・10/8実施)
- (4) 天竜かっぱウォーキングに協力します。(29年度 4回開催)
- (5) フットパス・ジャンボリーの開催に協力します。29年度10/9(月・祝) 開催
- (6) その他